

平成 28 年 2 月 25 日

～QB 第一号ファンド～
第 1 号案件 「株式会社 Kyulux」 への出資について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、地域の事業会社等と共同で出資している「QB 第一号ファンド」（以下「本ファンド」という）において、平成 28 年 2 月 18 日付で第 1 号案件として「株式会社 Kyulux（代表取締役 佐保井 久理須）」への出資を行いましたので、お知らせします。

本ファンドは、九州大学の特定関連会社である株式会社産学連携機構九州（代表取締役 前田 真、以下「九大 TLO」という）と共同で設立した QB キャピタル（代表パートナー：坂本 剛、本藤 孝）が運営するもので、九州の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州経済活性化を目的として平成 27 年 9 月に設立されたファンドです。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて地域経済の活性化を積極的に支援してまいります。

記

1. 対象企業の概要

会 社 名	株式会社 Kyulux
所 在 地	福岡県福岡市西区九大新町 4-1 福岡市産学連携交流センター2 号棟
代 表 者	代表取締役 佐保井 久理須
設 立	平成 27 年 3 月 9 日
事 業 内 容	ディスプレイ・照明向け有機 EL の次世代革新的材料の開発及び販売
資 金 使 途	有機 EL 発光材料の開発資金

2. 出資理由

本件は、第三世代有機 EL 発光材料の実用化を目指す当社の下記の点を評価し、出資を行ったものです。

(1) 将来性

液晶の次の世代ディスプレイとして、有機 EL 市場は大きな市場規模が見込める。

(2) 高い技術力

九州大学の安達千波矢主幹教授（最先端有機光エレクトロニクス研究センター・センター長）が開発に成功した第三世代有機 EL 発光材料は、高効率、低コストのみならず、高純度の発色と高強度の EL 発光が可能であり、日本発世界標準となる可能性を秘める。

(3) 地域経済の活性化

地場企業へ成長支援を行うことにより、地域経済の活性化及び雇用の創出が期待される。

以 上

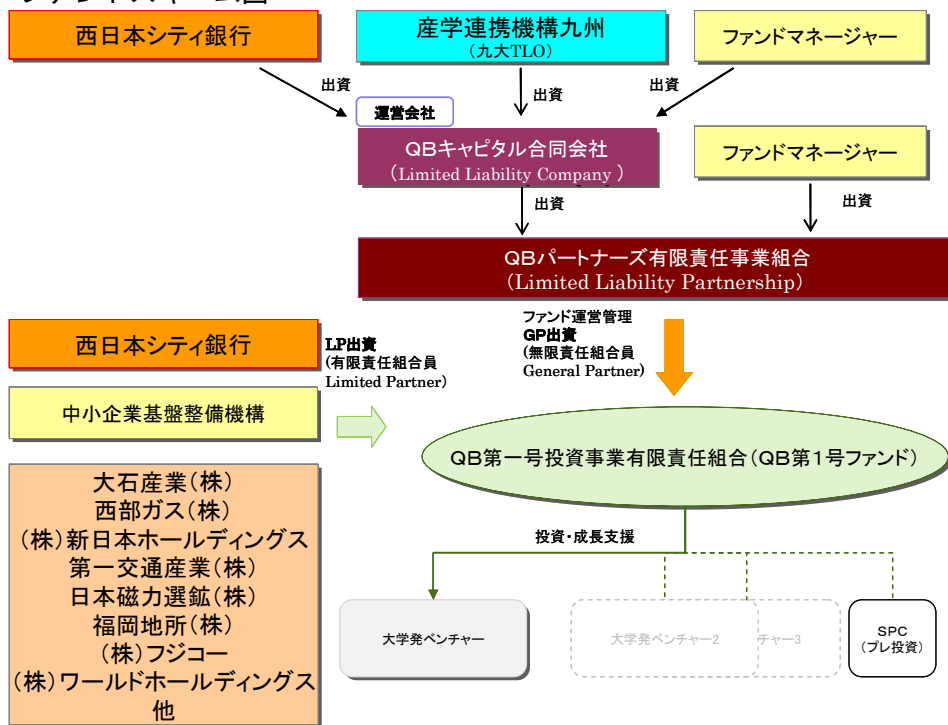
1. ファンドの概要

名 称	QB 第一号投資事業有限責任組合（通称：QB 第一号ファンド）
設 立 日	平成 27 年 9 月
ファンド総額	約 30 億円
無限責任組合員 (GP : General Partner)	QB パートナーズ有限責任事業組合
有限責任組合員 (LP : Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域事業会社 他
存 続 期 間	10 年間

2. 運営会社の概要

名 称	QB キャピタル合同会社
設 立 日	平成 27 年 4 月
所 在 地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
出 資 者	株式会社西日本シティ銀行 株式会社産学連携機構九州 他
代 表 社 員	坂本 剛（前 株式会社産学連携機構九州 代表取締役） 本藤 孝（フィンテックグローバルキャピタル LLC 代表パートナー）

3. ファンドスキーム図



(敬称略、50 音順)

本件に関するお問い合わせ先
 法人ソリューション部 渡辺 TEL092-476-2741